

# docomo 班

末武光太、伸江健志、前嶋宏美、森田沙織、横田将平

## 1. 準備に関する反省と感想

私たちはドコモについて調べました。資料集めやパワーポイントの作成など、各々自分に分担されたものをこなしていました。前期では思うように集められなかった資料も後期には集めることができるようになりました。授業以外にも何度か集まり、各自で集めた資料を元にスライドを作成しました。情報収集が難しく、また調べていくうちに新しい情報が出てしまい調べ直すこともありました。反省点は、私個人のことで、リーダーという役なのに情報不足だったのでみんなが集めた資料を把握できず、何を調べればいいのかということを指示できなかったことです。

## 2. 報告内容とそれに対する質疑の概要

はじめに相手はauについて報告し、次にこちらがドコモについて報告しました。報告内容の概要は、①経営状況、②両者の経営戦略、③まとめです。シェアや契約数などを説明したあとに、スマートフォンに重点をおきながら、新料金プランや新サービスを説明し、auと比較を説明しました。

相手からの質疑内容は、通話中のネット通信が不可とは具体的にどのようなものかとモルフォとは何かというものでした。

## 3. 合同ゼミに対する感想と反省

約半年間かけて調べてきたせいか、いざ発表してみると15分という時間は短く感じました。相手からの質疑に対して情報不足で答えられないこともなかったのですが、よくできたと思います。しかし、いい資料を作成したとしても発表態度が悪くてはいけません。真剣さが足りなかったことを反省します。

リーダーを通して責任の重さとみんなからの期待が比例するのだと気づきました。またその責任の重さと期待は自身の努力のとも比例することもわかりました。グループワークの難しさやプレゼンテーションまでの準備、発表の流れも知ることができて大変良い経験になりました。

(文責 末武光太)